

2022. 3 月のブルーベリー農園その 2

どうやら寒い日は遠のいたようだ。安芸区の自宅から東広島市豊栄町のブルーベリー園に通いながらブルーベリー栽培を続けている。そして夏に実を収穫して安芸の郷に納品している。昨年はお盆を挟んで大雨が続きたくさんの実が落ち

て納品した量もかなり少なかった。その影響で安芸の郷で販売している冷凍ブルーベリーが今時点で中止となる状況になった。最後はお天気次第なので仕方がない。だが剪定作業は手抜きできないので少しずつ進めている。農園では「ケーン」とキジの鳴き声が聞こえる。今年も来てくれた。春が来て風が強い日が多くなる。昼過ぎには 20 度位になる。作業着も軽くなる。ブルーベリー畑の地面に落葉の茶色から、草の緑色が広がっていく。春は足し算で景色が緑や花の多様な色合いを呼ぶ。



3月8日(火)
3段あるブルーベリー畑の剪定を続ける。



3月12日(土)
剪定したブルーベリーの枝を1時間ほどかけて燃やす。



安芸の郷で必要なブルーベリーの挿し木の穂木を農園で採取する。種類別にくくって持ち帰る。



小さな畑の地面にホトケノザの花が増え、勢いを増してきている。





ブルーベリー畑の端っこに水路がありその法面が黒い。枯れたススキなどが野焼きがされたようだ。



その地面のブルーベリー畑の野の花
① オオイヌノフグリ



3月13日（日）
午後3時すぎもう一方の法面の枯れ草の野焼きが始まった。ぽわっという音と、ぱちぱちという音が入り混じった炎が上がる。



② ナズナ



風も強く剪定した枝を運ぶカゴも飛ばされころころ転がることも。



ブルーベリー畑は草の緑が少しずつ地面を覆う

2022年3月15日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良